

2023年12月12日

矢崎総業株式会社

矢崎総業、脱炭素への取り組みとしてグループ内 PPA を実施 テクノ矢崎を発電事業者に、浜松工場内に 1,000kW の太陽光発電設備を設置 2024年3月より浜松工場と天竜工場へ電力を供給

矢崎総業株式会社（本社：東京都港区、社長：矢崎 陸）は、子会社のテクノ矢崎株式会社（本社：東京都品川区、社長：林 邦也、以下「テクノ矢崎」）を発電事業者としてグループ内 PPA を実施します。

第 1 弾として、テクノ矢崎が、矢崎エナジーシステム株式会社浜松工場内に設備容量 1,000kW の太陽光発電設備を設置し、2024 年 3 月より同工場へ年間 88 万 kWh（年間使用量の約 48%）の電力を販売するとともに、余剰となる電力を同天竜工場に自己託送することを計画しています。

第 1 弾における二酸化炭素の削減量は、年間 530 トンを想定しています。

矢崎グループでは、脱炭素社会に向け、2050 年カーボンニュートラル実現および 2030 年の CO2 排出量削減目標（2017 年比 39%減）を掲げ、事業所におけるエネルギーロス削減、省エネ設備への更新、工場廃熱の冷水利用等と合わせ、再生可能エネルギーの導入を行っていく計画です。

太陽光発電設備の導入については、一般的な太陽光パネルに加え、薄膜パネルの採用、事業所空き地への野立て設置を行いながら、更に 6,000kW 以上の太陽光発電設備をグループ内 PPA で順次追加導入し、エネルギー調達コストの抑制と二酸化炭素の排出量削減を図っていく計画です。

これにより、矢崎グループの国内事業所全体の電力使用量のうち約 9%を太陽光発電による電力に置き換え、二酸化炭素の削減量としては年間約 9 千トンを想定しています。

発電事業者としてグループ内 PPA を行うテクノ矢崎では、矢崎グループ以外のお客様に対しても積極的に太陽光発電システムを販売し、2030 年までには小売電気事業者として再生可能エネルギー電力を取り扱うことを計画しています。

※PPA: Power Purchase Agreement（電力購入契約）

<テクノ矢崎株式会社>

本社：東京都品川区南品川 2-2-10 南品川 N ビル

社長：林 邦也

事業：冷暖房機器、空調機器、太陽熱利用機器、廃熱利用機器、コージェネレーション機器等の販売・保守サービス

<お問い合わせ先>

矢崎総業株式会社 広報部

TEL : 055-965-3002

E-mail : kouhou@jp.yazaki.com